

平成25年1月27日発行
第83号

発行 後援会
印南 宏
発行責任者 印南 宏

二〇一三年がスタート
政治は新たな潮流に!



今年がスタートの皆様が、新たな
一、三年は、私の人生でも大きな
願、三、年、私、の、人、生、の、支、え、を、
一、三、年、は、私、の、人、生、の、支、え、を、
で、三、年、は、私、の、人、生、の、支、え、を、
な、節、目、の、私、の、人、生、の、支、え、を、
す、節、目、の、私、の、人、生、の、支、え、を、
た、自、民、党、の、中、心、と、し、て、
ら、自、民、党、の、中、心、と、し、て、
公、立、民、党、の、中、心、と、し、て、
交、代、立、民、党、の、中、心、と、し、て、
いた、代、立、民、党、の、中、心、と、し、て、
山、積、ま、す、政、治、の、新、潮、流、を、
の、積、ま、す、政、治、の、新、潮、流、を、
展、望、す、政、治、の、新、潮、流、を、
全、保、障、に、お、引、き、上、げ、
な、保、障、に、お、引、き、上、げ、
権、懸、案、の、引、取、り、上、げ、
る、懸、案、の、引、取、り、上、げ、
再、生、産、心、を、高、め、
か、如、何、に、実、現、し、
連、携、を、定、め、
問、題、を、協、定、し、
エ、ネ、ギ、ド、ー、
政、策、で、
は、く、
「の、脱、

東日本大震災の
復旧・復興

原「発」を唱える他党と違
い、十年以内に電源構成
のベストミックスを確
立「する」という自民党は
早急な結論を求められる
ことになり、

一、昨年、何と東日本大
震、災、の、復、旧、と、東、日、本、大、
に、進、ま、な、い、現、状、が、ど、う、な、
破、壊、ま、だ、な、い、現、状、が、ど、う、な、
に、と、ま、つ、て、い、く、特、に、孫、子、
る、高、濃、度、汚、染、焼、却、灰、の、
保、管、問、題、は、深、刻、な、事、故、
京、電、力、福、島、第、一、原、子、力、
の、影、響、に、よ、り、一、千、七、百、
ム、超、え、る、射、線、量、が、注、意、
汚、染、を、最、大、限、に、抑、え、
却、灰、を、最、大、限、に、抑、え、
の、選、定、問、題、が、課、題、と、
面、に、お、き、ま、す、重、要、な、課、題、
て、い、う、最、大、限、に、抑、え、
月、末、主、党、の、政、権、は、昨、年、
し、補、地、を、選、定、す、る、宣、言、
東、は、実、現、し、た、ま、が、の、
こ、た、が、政、権、を、担、つ、て、
住、民、の、反、発、を、み、る、政、
が、課、題、を、解、決、し、可、能、な、
度、は、こ、そ、現、可、能、な、道、筋、
を、

持続可能な
まちづくりを!

示す責任があります。
私たちの街、我孫子市
は、残念ながら、今も原子
事故による高濃度焼却灰
問題や放射能対策の液状
問題など三、一、の、後、
現、在、進、行、形、と、な、つ、て、
す、の、結、果、東、葛、六、市、
孫、子、市、の、各、市、の、
野、田、子、市、の、各、市、の、
中、野、田、子、市、の、各、市、の、
が、一、人、早、く、始、ま、つ、て、
す、一、人、早、く、始、ま、つ、て、
減、ら、な、い、接、口、の、減、ら、
高、一、人、早、く、始、ま、つ、て、
に、高、一、人、早、く、始、ま、つ、て、
な、高、一、人、早、く、始、ま、つ、て、
よ、入、者、が、大、幅、に、減、ら、
転、入、者、が、大、幅、に、減、ら、
自、治、体、の、経、営、を、行、つ、
た、め、更、なる、行、財、政、改、
策、の、展、開、が、急、務、と、
い、ま、す、開、口、が、急、務、と、
今、地、方、議、員、の、皆、ん、が、
今、地、方、議、員、の、皆、ん、が、
政、治、に、無、い、こ、ろ、で、
す、大、き、い、三、年、の、絞、り、
動、を、す、き、政、治、に、無、い、こ、ろ、
を、

◆#####◆
「あびこ未来会議」開催のお知らせ
我孫子市議会の会派(グループ)「あびこ未来」(印南宏代表、
早川真、坂巻宗男、飯塚まこと)では、第4回「あびこ未来会議(市
政懇談会)」を下記のごとく開催します。
今回も多くの方々のご参加をお待ちしております。(予約の必
要はありません。どうぞ、気楽にご参加をお願いします。)
テーマ：12月定例市議会報告(指定管理者制度のあり方など)
我孫子市の放射能対策・高濃度焼却灰一時保管問題等
日 時：2月17日(日)
午前 10時00分～ 我孫子北近隣センター(ホール)
午後 2時00分～ ふさの風(第一会議室)
◆#####◆

十二月議会報告

十二月議会に提出された議案は全三十八件。主な議案は①職員の給与条例の一部改正、②常勤の特別職、教育長の給与に関する条例の一部改正、③(減額)災害対策基本法の一部改正、④市民危機管理の学童保育室の設置及び管理に関する条例の制定、⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

印南は請願二件の紹介議員として教育福祉常任委員会で請願の趣旨説明等を行いました。十二月議会は本会議での質問は個人質問のみとなつて、ます。印南は福祉・教育問題を中心に本会議で個人質問を行いました(概要は次項)。

指定管理者制度とは、公的施設をより効果的に管理するために、民間の能力を活用する仕組みを整備し、住民サービスの向上や経費の節減等を図ることを目的とする制度です。簡単に言えば「公的施設管理・運営を民間の営利企業などに包括的に代行させること」が、この制度の大きな特徴です。今議会では、三件の指定管理者の指定をめぐり争点が、審査された指定管理者の選定方法について、如何にコスト(市が業者にとっての負担)を削減し、市民の利益を確保するかにあります。

十二月議会の争点となった「指定管理者制度」について

料が高業者が市の選考委員会で最高得点を獲得、選考方法でコストを意図した項目が著しく低い評価点であり、逆に市民サービスの向上・独自提案内容などが高い評価点となるように配分された方法になつていないことが明らかになつたのです。

◆十二月議会
印南 宏個人質問骨子◆

○福祉行政
①シルバー人材センターについて(現状と課題今後の取り組みを問う)

ア. 会員減少の理由と粗入会率
イ. 公益社団法人になったことの影響・メリット
ウ. 市のセンターに対する具体的支援策(補助金の交付、広報への掲載他)
エ. 経営基盤強化策の実施状況
オ. シルバー人材センター運営費補助金要綱の見直し
ア. 成年後見制度について
イ. 市長申し立て内容の傾向
ウ. 社会福祉協議会への業務委託と成年後見センター


印南 宏 現在の主な役職

我孫子市議会
会派「あびこ未来」代表(無所属)
総務企画常任委員
農業委員会委員(議会選出)
我孫子市成田線を便利にする議員の会副会長
柏市・我孫子市議員協議会世話役

連合千葉関係
連合千葉議員団会議 前幹事長

電機連合関係
電機連合議員団会議 ブロック幹事

その他
我孫子市サッカー協会 顧問
我孫子市ソフトボール連盟顧問
新聞奨学生OB会相談役(前会長)など



○教育行政
・深刻化する、「見えない」「いじめ」をどうしていくのか!
ア. 文科省の緊急調査結果、急増の理由と当市の状況
イ. いじめアンケートとQ、U検査
ウ. 教育研究所ホットライン開設
エ. いじめ防止プログラムの推進
オ. ネットいじめ対策

尚、私は十二月議会「総務企画常任委員会」では以下に関する質問と提言を行いました。詳細は議会だより、HP等を閲覧下さい。

平和台雑感

今年のお正月は「いつものお正月」となった。一昨年の父の他界、その後の慌ただしさと違って、久しぶりにのんびりとしたお正月を過ごすことができた。大みそかは紅白歌合戦で「ヨイトマケノ唄」を聞き、その後、除夜の鐘が鳴り終わる頃、恒例の夫婦二人で地元、竹内神社へ初詣。今年の大晦日の晩はお月様やお星さまがとてもきれいで私たちのお供をしてくれた。深夜、零時を過ぎて、竹内神社には地元の若い男女がたくさん集まっていた。今年には私の干支の歳であり、十二月には還暦を迎える。大きな節目の歳である。神様には今年一年、どうか健康に過ごせますようにと懇ろに祈らせていただいた。我が家では元旦の朝、お雑煮やお屠蘇をいただく前に、家族全員がそろったところで、それぞれ、今年一年の目標を話す機会を設けている。私は、この時も家族に還暦という大きな節目の年齢であるが、体を鍛え直して体力向上の年にするとか高らかに宣言した。◆年末年始にかけて、三冊の本を読んだ。一冊目は「聞く力」、阿川佐和子著。二冊目は「選ぶ力」、五木寛之著。三冊目は「別れる力」、伊集院静著。これらの共通点は「力」である。二〇一二年終り頃に出版された「選ぶ力」も「別れる力」も、二〇一二年、年初に発売された阿川佐和子さんのベストセラー「聞く力」の書名を連想させるものであったが、中身は全く違うものである。◆「聞く」「選ぶ」「別れる」の視点で、作者それぞれの経験からにじみ出る自分流の生き様を世に問うたものとなっている。◆その中で印象に残った本は、伊集院静氏の「別れる力」である。週刊現代に連載されていたエッセイ集を再編集されたものだが、相も変らぬ「大人」の男、「粋な男臭さ」を伊集院静氏は全編で演じている。今人の若い人たちに通じるセリフは皆無のように思われるが、私には心地よい共感と憧れみいたいなものを強く感じられた。例えばこうだ。「酒を飲むのも結構、競馬競輪麻雀も結構、女を買うのも結構だ。大人の男だから自分の責任の下では何をやっても構わない。但し、金のことで他人に迷惑や不義理をかけるのは自由だ。お金を嫌うのは個人の自由だからそれは構わない。だしたら銀座の飲み屋で飲み食いするな。自分の持ち金相応の生活を送るべきだ。」長年苦勞して築いた彼流の大切なお金の使い方について、考えをまっすぐ述べている。◆伊集院静氏は、本書の前書で「しかし私たちが生きていく上で、離別を避けておられるものはない。人と人との別れももうそうだが、かつて私は北海道の牧場でサラブレッドの仔馬が母馬と別れた夜を牧舎で

見たことがあった。仔馬は一晚、母親を呼んで嘶いていた。哀切に満ちた声が牧草地に響いた。辛いことだと思つた。しかし翌朝、仔馬は他の若い競走馬たちと懸命に駆け始めた。」と述べ、続いて「その時、私は一夜の哀しさが仔馬に、彼が生きたための力を与えたのだと思つた。それは母親の祈りでもある。」と語る。悲しい別れを乗り越えたとき、人は「目に見えない力」が与えられ、「その力こそが、生きる原動力であり、人間が持つ美しさでもある。」と自らの体験をもとに表現している。伊集院静氏の言葉にはさわやかな優しさやと体験からくる自信が満ちている。◆この本、「別れる力」を書こうとしたきっかけを、伊集院静氏は以下のように言っている。「もうすぐ東日本大震災から二年になる。時々、被災地に行く。と、子供たちが登校している。南三陸町とか海沿いの近辺の町だけで千人の子がどつちかの親を亡くしている。両親を亡くしたのは二百五十人。だから十人の子どもを見たら、そのうち一人は、そういう子がいることになる。でも、子どもたちは結構明るい。なぜ明るいのか、結局、彼ら彼女らは、そうすることが生きることなのか、学びつつあるのではないのか。次に向かうと決めていくことを感じる。」◆「別れる」ことを知って「力」を備えなげやいけなことをしつかりと学びつつあるのだ。◆私は別れることで、即「力」に

つなぐるとは思われないが、誰にでも生きていくの限りが、大切な人、いとおいの人との別れが必ずやってくる。その時、大切な人、いとおいの人の分まで生きられただけ、生きようとする自分でありたいと思っている。常に生きていくことに感謝しながら、今を懸命に生きていきたい。

印南 宏後援会
〒270-1198 我孫子市日の出 1131
(日本電気労働組合我孫子支部内)
Tel 7184-2860
印南 宏 自宅
布佐平和台7-1-18
Tel 7189-1598
e-mail innami@mqd.biglobe.ne.jp
HP http://www7b.biglobe.ne.jp/~innami-hiroshi/
ブク http://hiroshi4649.at.webry.info/



宏